

# AutoCAD®

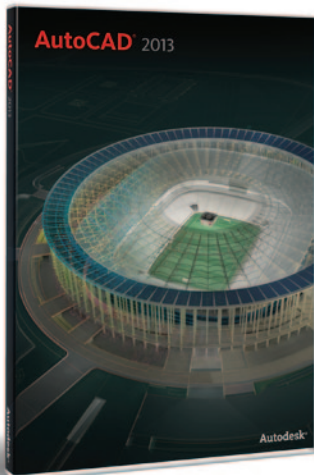
2013

デザインをつなげる

表紙イメージ: Estadio Nacional de Brasilia  
設計: Castro Mello Architects  
使用ソフトウェア: AutoCAD, Autodesk 3ds Max Design  
Image courtesy of Castro Mello Architects

Autodesk®

# 設計ワークフローの連携



デファクト スタンドアードの設計ソフトウェアである AutoCAD のパワフルで柔軟な機能により、身のまわりにあるさまざまなものを設計し、かたちにできます。

AutoCAD 2013 は設計の集約のための強力なツールを使用して、設計と図面作成ワークフローを連携させて合理化します。クラウド対応サービス Autodesk 360 に接続する新しいツールを使用すれば、どこからでも設計にアクセスしてコラボレーションできます。さらに、1つの接続先にアクセスするだけで数百種類のアプリケーションを検索してインストールできるので、これまでより簡単に AutoCAD の操作性をカスタマイズできます。

オートデスクは約30年間に渡って、設計プロセスの効率化に取り組んできました。AutoCAD は、ほぼすべての業界のあらゆる規模の企業のデザインイノベーションを促進する、設計および図面作成ソリューションです。

## 設計アイデアの検討

これまで想像できなかった設計を可能にします。AutoCAD 2013 の柔軟性により、2D と 3D の両方で設計アイデアを検討できます。強力な直感的なツールセットでアイデアをビジュアライズしてかたちにし、革新的なコンセプトを実現します。

- **3Dフリーフォーム デザイン:** AutoCAD 2013 の強力なサーフェス、メッシュ、ソリッド モデリング ツールを使用し、アイデアを検討して練り上げることができます。
- **点群データのサポート:** 3Dスキャナー装置を使用して作成した点群を AutoCAD に読み込んで、改修工事の設計作業を効率化します。
- **状況依存の境界引き伸ばしツール:** 曲線を押出ししてサーフェスを作成したり、面をオフセットしてソリッドを作成します。また、1回の境界引き伸ばし操作で複数のオブジェクトを選択できます。
- **面分割線を抽出:** サーフェスやソリッドの面上で指定した点で任意形状の等高線を決定し、面分割線を抽出作成します。

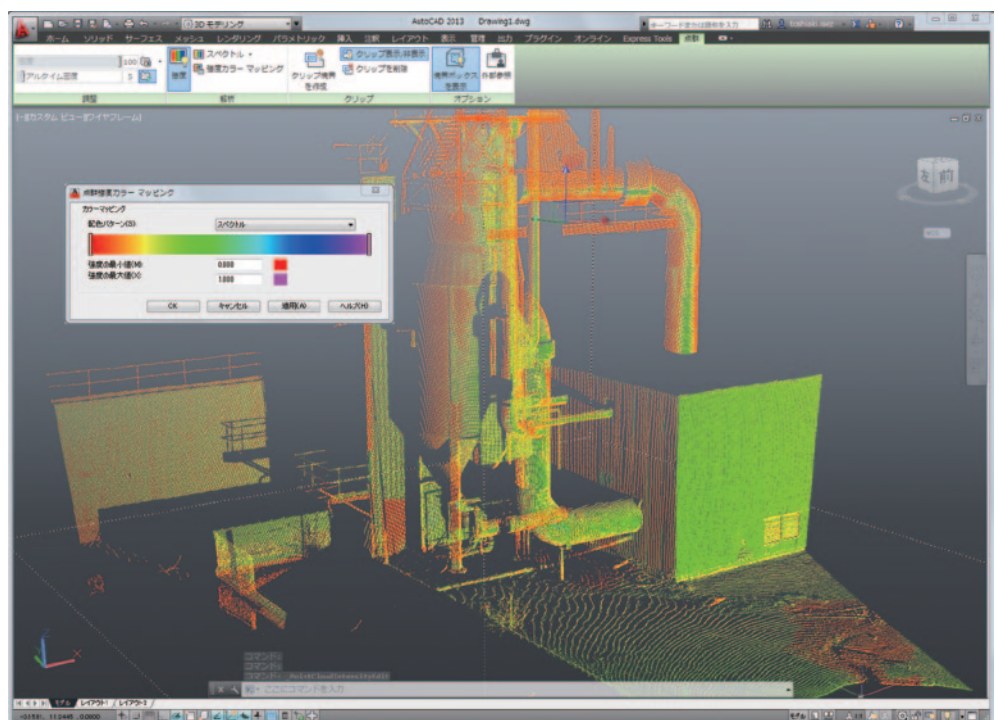
- **Autodesk® Inventor® Fusion:** ほぼすべてのソースから得た3Dモデルを、柔軟に編集および検証して、DWG™形式でダイレクト モデリングする容易な機能を提供します。

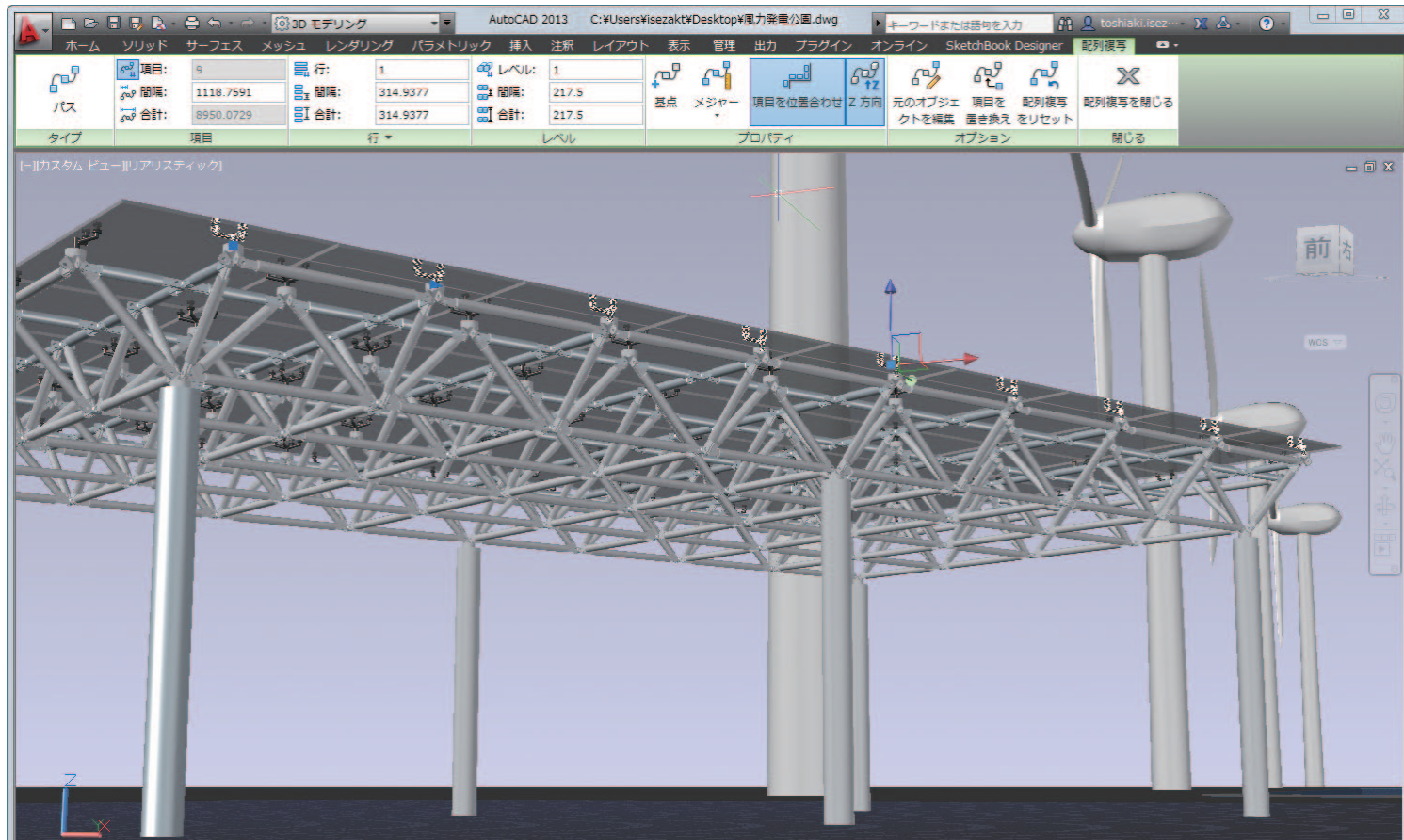
## 3Dモデルの図面化を加速

AutoCAD 2013 のパワフルな図面作成ツールを使用すれば、プロジェクトをコンセプトから完成までスピードアップできます。反復作業を最小限に抑えてワークフローを加速します。3Dモデルを直接 AutoCAD 2013 に読み込み、すばやくインテリジェントな2Dビューを作成できます。AutoCAD はプロジェクトの規模や分野に関わらず、課題に対応できます。

AutoCAD 2013 には広範なツールセットが搭載されているので、業種に関わらず作図および図面作成プロセスの効率性を高めることができます。AutoCAD 2013 の主な新規ツールは、以下のとおりです。

- **断面図と詳細図ビュー:** 新しい [レイアウト] タブを使用して、読み込んだモデルの断面図と詳細図ビューを作成するためのツールに簡単にアクセスできます。
- **最新のユーザ操作:** コマンド ラインの柔軟性の向上やコンテキスト リボンタブの追加、多機能グリップの増加により、インターフェースのわずらわしい操作が低減しました。
- **プロパティ編集のプレビュー:** オブジェクト プロパティの適用前に、変更結果を動的にプレビューできます。
- **取り消し線:** 新しく「取り消し線」スタイルが追加され、ドキュメント内での文字表記の柔軟性が向上しました。





## スムーズな接続

さまざまなアプリケーションのモデルをAutoCADの作業環境に集約することで、設計ワークフロー全体を連携させることができます。クラウド対応サービスAutodesk 360へのビルトインの接続機能により、ファイルの同期と設計のコラボレーションが可能です。さらに、世界で最も広く使用されている設計データ形式の1つであるネイティブなDWGに対応しているため、すべての関係者が同じ情報を共有することができます。

- **Autodesk 360との接続**：図面のオンラインアカウントとの同期を、AutoCADから直接行います。
- **3Dモデルの読み込みと集約**：Pro/ENGINEER、CATIA、SolidWorks、NX、Rhinocerosなど、さまざまなアプリケーションで作成された3Dモデルを読み込み、集約できます。
- **Inventorファイルの読み込み**：Autodesk InventorのモデルからAutoCADの図面を作成すると同時に、AutoCADとInventorファイルとのインテリジェントな接続関係を維持します。
- **ソーシャルメディアとの接続**：FacebookやTwitterとビルトインの接続機能により、AutoCADで作成したデザインをソーシャルに共有します。
- **AutoCAD WS Webとモバイルアプリ**：Webブラウザやモバイル機器から、いつでも設計にアクセスできます。
- **ネイティブなDWGのサポート**：余計な変換作業や修正の必要ない、ネイティブなDWGファイル(TrustedDWG™)をサポートできます。

## 画期的な方法でのカスタマイズ

業務にはそれぞれ独自性があり、ソフトウェアもそうであるべきです。AutoCADは想像以上に簡単に、業務に合わせてカスタマイズできるようになりました。単に作業方法に合わせてツールを調整したり、業務に合わせてソフトウェアをカスタマイズする場合でも、AutoCAD 2013は柔軟にワークフローをサポートします。

- **Autodesk ExchangeのAutoCADアプリケーション**：AutoCADのパワーは、ADN (オートデスク テレロッパー ネットワーク) メンバーが作成したAutoCAD用のアドオンアプリケーションを利用することで、拡張できます。
- **簡素化された移行ツール**：前バージョンのカスタマイズ環境を、簡単に移行する機能が追加されました。
- **カスタマイズとサポート ファイルの同期**：マシンを別のマシンに移行する際、AutoCADカスタマイズ設定とサポート ファイルの共有とアクセスが簡単にできます。
- **カスタマイズ可能なユーザ インタフェース**：必要なツールにすぐにアクセスできるよう、ユーザ インタフェース配置をカスタマイズできます。
- **プログラミング インタフェース**：特殊な設計、作図アプリケーションを作成できます。

## AutoCAD 2013にアップグレードする5つの理由

**1. より柔軟な設計**：新機能により、設計アイデアをすばやく実現できます。AutoCAD 2013のサーフェス、ソリッド、メッシュ モデリングのツールは、柔軟性と拡張性を提供します。最大20億ポイントでスキャンされたオブジェクトの点群データをインポートする強力な点群ツールで、既存環境のデータを使ってプロジェクトを開始できます。

**2. 迅速な図面化**：読み込んだ3Dモデルの断面図と詳細図ビューの作成、プロパティ編集のプレビュー、ビューポート変更のプレビューなど、数多くの機能強化により、図面作成ワークフローをスピードアップできます。最新のインタフェースには、より柔軟なコマンド ラインとより多くの多機能グリップが含まれています。また、作図中にリアルタイムで拘束を自動的に推測できるので、実質的にすべてのオブジェクト関係を手作業で定義する作業が不要になります。

**3. より直感的な接続**：設計ワークフロー全体の連携が強化されました。さまざまなアプリケーションからモデルを読み込んで集約できます。クラウドベースのテクノロジーを通じてコラボレーションを行い、モバイル機器から設計にアクセスして編集できます。

**4. インパクトのあるコミュニケーション**：統合されたレンダリング ツールを使用して、3Dモデルの印象的なビジュアル表示を作成できます。また、AutoCAD 2013は3Dプリント機能をサポートしているので、設計の実際のプロトタイプを3Dですばやく作成できます。

**5. より簡単なカスタマイズ**：Autodesk ExchangeからAutoCAD用のアドオンアプリケーションを入手して、ニーズに合ったアプリケーションを利用できます。マシンを別のマシンに移行する際、AutoCADカスタマイズ設定を共有してアクセスできます。前バージョンのカスタマイズ環境の移行や環境のリセットを簡単にこなせます。

## 32bit版

OS : Microsoft Windows XP (Home、Professional) Service Pack 3 (SP3)  
以降 日本語版  
Microsoft Windows 7 (Home Premium、Professional、Ultimate、Enterprise) 日本語版  
CPU : Windows XP使用時—Intel Pentium 4またはAMD Athlon Dual Core  
1.6GHz以上、SSE2テクノロジー対応  
Windows 7使用時—Intel Pentium 4またはAMD Athlon Dual Core  
3.0GHz以上、SSE2テクノロジー対応

メモリ : 2GB (推奨4GB)  
ディスク空き容量 : インストールに6GB  
ディスプレイの解像度 : 1024×768 True Color (1600×1050以上推奨)  
ブラウザ : Microsoft Internet Explorer 7.0以降  
ポインティング デバイス : マイクロソフト社製マウスまたは互換製品  
インストールメディア : DVDおよびダウンロード  
.NET Framework : .NET Framework Version 4.0, Update 1

## 3D機能使用時

CPU : Intel Pentium 4またはAMD Athlon 3.0GHz以上  
IntelまたはAMD Dual Core 2.0GHz以上  
メモリ : 4GB以上  
ディスク空き容量 : 実行時6GB以上 (インストール時とは別途)  
ディスプレイの解像度 : 1280×1024 True Color  
グラフィックスカード : ワークステーションクラスの128MB以上のメモリ実装、  
Pixel Shader 3.0以上、Direct3D対応の認定  
グラフィックスカード

## 64bit版

OS : Microsoft Windows XP Professional x64 Edition Service Pack 2 (SP2)  
以降 日本語版  
Microsoft Windows 7 (Home Premium、Professional、Ultimate、Enterprise) 64bit 日本語版  
CPU : AMD Athlon 64, AMD Opteron SSE2テクノロジー対応  
Intel Pentium 4, Intel Xeon Intel EM64TおよびSSE2テクノロジー対応  
※ 上記以外は、32bit版の動作環境に準ずる

## 3D機能使用時

メモリ : 4GB以上  
ディスク空き容量 : 実行時6GB以上 (インストール時とは別途)  
ディスプレイの解像度 : 1280×1024 True Color  
グラフィックスカード : ワークステーションクラスの128MB以上のメモリ実装、  
Pixel Shader 3.0以上、Direct3D対応の認定  
グラフィックスカード

## Autodesk 360

Autodesk 360との統合により、AutoCADで作成した図面や設計図書データをクラウド サービスでオンラインに保存することで、いつでも、どこでも、どんな機器からでも、チームメンバーで図面を共有し、閲覧、協調編集が行えます。インターネット環境を持ち歩くことで、社外からでもスマートフォン、タブレットなどのモバイル デバイスでクラウドにアクセスでき、印刷出力した紙図面の持ち出しを大幅に削減できます。また、データにアクセスできるメンバーを明示的に指定できるのでセキュリティ面でも安心です。

## Autodesk® Subscription (オートデスク サブスクリプション)

サブスクリプションをご契約いただくと、クラウドサービスの利用、最新バージョンの入手、前バージョンの使用などの特典により、フレキシブルなライセンス運用が可能となります。

[www.autodesk.co.jp/subscription](http://www.autodesk.co.jp/subscription)

## AutoCAD Productivity Enhancementプログラム (ACPE)

AutoCADおよびAutoCAD LT®をお使いのユーザが、より一層生産性を上げていただけるようサポートするプログラムです。設計チームを強化するプロセスを見直し、個人の利用技術の向上に着目し、目標レベルを3段階に設定し、3ステップで、チームメンバーが設計チームに貢献できる利用技術の養成と、企業の生産性の強化を、教材とトレーニング、コンサルティングで支援します。

[www.autodesk.co.jp/acpe](http://www.autodesk.co.jp/acpe)

## 購入先

AutoCAD、サブスクリプション、その他オートデスク製品は、下記にてご購入ください。

オートデスク認定販売パートナー

[www.autodesk.co.jp/reseller](http://www.autodesk.co.jp/reseller)

オートデスク オンラインストア

[www.autodesk.co.jp/estore](http://www.autodesk.co.jp/estore)

# AutoCAD 2013に関する詳細

## [www.autodesk.co.jp/autocad](http://www.autodesk.co.jp/autocad)

# Autodesk®

オートデスク株式会社 [www.autodesk.co.jp](http://www.autodesk.co.jp)

〒104-6024 東京都中央区晴海1-8-10 晴海アイランド トリトンスクエア オフィスタワーX 24F

〒532-0003 大阪府大阪市淀川区宮原3-5-36 新大阪トラストタワー3F

TEL:0570-064-787 (オートデスク インフォメーション センター)